



人をつなぎ 未来をつなぐ  
明石のコミュニティ・スクール

# コミコミスクスク

明石市教育委員会事務局学校教育課

## まちづくり計画書

先日、朝霧小学校の第1回学校運営協議会が開かれました。モデル校として令和元年の新たなスタートです。会の中で委員さんから地域の実態、PTA改革、授業時数問題（教室での勉強だけで育つのではない）等、次々と意見が交わされる中で、「学校はいつもみているけど、遠いところにある」、「人をつないでいくためには学校が必要、だから学校の敷居を低く」、「スクールガードをしていると子どもの顔はわかる、親御さんの顔もわかる」と、地域での学校の存在や人をつないでいく仕組みについての議論に落ち着いていきました。その背景には、「朝霧校区まちづくり計画書」の策定への取り組みがあったからではと感じました。策定に向け、住民のみなさんのニーズや現状を把握するための校区内全世帯を対象としたアンケートや、そこから見えてきた課題・意見を話し合うために「まちづくりを語り合おう」などを実施し、この春に交流・親睦、安全・安心などの課題への取り組みを推進・充実するための長期（10年）の計画である「朝霧校区まちづくり計画書」が完成しました。「朝霧校区まちづくり計画書」への思いが委員さんの熱い意見のベースにあったのだと思います。「それは学校やろ、それはPTAやろ、いやそれは地域や」といった考えではなく、学校・地域・保護者が身近なできることから、学校・地域・保護者の壁なく、共に試行錯誤していきましょうと読み取れるように感じました。

また、校区の課題・実態は学校の課題・実態であり、イメージとしては“人がつながり、共に育ち、助け合い、子どもが大人の仲間入りしていく場”である地域の別名がコミュニティ・スクールなのではと朝霧小学校の学校運営協議会に参加させていただいて考えるようになりました。8月末にチャレンジされる「あさぎりキックオフミーティング」でどんな熟議がはじまるか楽しみです。



## 今から18年前に



退職を期に、身の回りの整理をする中で面白いものが出てきました。今から18年前に退職される先輩が構想した小学校の未来予想図です。その図の説明には『少子高齢化、情報化の増大、地方分権、規制緩和の拡大、生涯学習の進展・・・このような未来予想の視点にたって小学校の姿を描いたものである。従来の学校側からの視点で考えるのではなく、地域づくり、まちづくりの視点にもたって考えることが必要である』と考える。教育を家庭教育、学校教育、社会教育のバランスをとり役割分担を明確にする。学校教育の時間については午前中とし、学習内容については、生涯学習時代に必要とされる基礎・基本だけとする。午後は社会教育に位置づけ、芸術教科を中心とする「自由教室」。体験活動を中心とする「体験教室」。様々なスポーツを楽しむ「スポーツ教室」とする。』とあります。

未来予想図には高齢者や幼児とふれあう子どもたち、地域の生涯学習の拠点、防災の拠点等様々な機能が描かれています。18年前この絵を見た時、「夢物語」と思いましたが、今はすぐそこにある未来の学校のありべき姿ではと思うようになったのも不思議です。経産省「未来の教室とEdTech研究会」の提言をこの絵と合わせてみると「すぐそこにある未来」がみえてきます。

# こんな取り組みも

明石市立花園小学校  
 コミスク通信 **チームワーク** 2019年7月2日 No.2

コミュニティスクールを始めるにあたって、まず、最原の方から、学校教育目標及び、目指す学校像、子ども像、教職員像を示したいと思います。この学校教育目標をご承認ください。そして、学校教育目標の実現を目指して1年間、いっしょに頑張っていきたいと思います。

学校教育目標

やさしく かしく たくましく  
 夢をもって 生きる子を育む

- 目指す学校像**
- ① 誇りに思える学校 ～ みんないささ ～
  - ② 豊かな学びのある学校 ～ みんなわくわく ～
  - ③ ふれあいゆとりのある学校 ～ みんなつながる ～
- 目指す子ども像**
- ① 思いやりのある子 …… 自分も他人も大切にし、思いやり助け合う子
  - ② たくましく伸びる子 …… 心身ともに健康で、何事にもねばり強く取り組む子
  - ③ よく考えよく学ぶ子 …… 目標をもって自ら学び考え、支え協力し高め合う子
- 目指す教職員像**
- ① 豊かな人間性のある教職員 …… 高い人権感覚、子どものお手本
  - ② 教育に対する情熱と使命感をもつ教職員 …… 愛情・責任感・向上心
  - ③ 実践的な指導力のある教職員 …… 子ども心に火をつける
  - ④ 保護者・地域から信頼される教職員 …… 感謝と協働の意識、ていねいな対応
- そのために(1)

### 合言葉は「ネットワーク」、「フットワーク」、「チームワーク」

- ネットワーク（連携）**  
 これからの学校教育は何より連携が大切です。そのために「相談し合え、意見が言える人間関係づくり」、「ホウ（報告）レン（連絡）ソウ（相談）」が行き届いた風通しのいい職場環境づくり、「地域、保護者に関わられた学校づくり」を進めましょう！
- フットワーク（行動）**  
 課題への対応は、事態が深刻化する前の初期段階が大事になります。小さなことも見逃さず、問題を先送りせず、素早く対応しましょう。授業・環境整備等、改善の余地があると思ったら、勇を惜みず、即、行動していきましょう。
- チームワーク（協働）**  
 チームワークとはお互いの弱点を補い、強みを活かしながら組織としてのパワーを生み出すことです。学校の方は「個人のカム組織の力」と言われます。チームワークを最大限に発揮して、課題をクリアし、今以上の学校をつくりあげましょう。

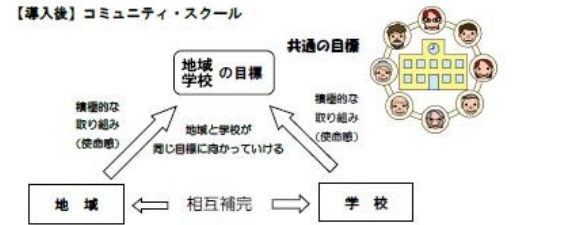
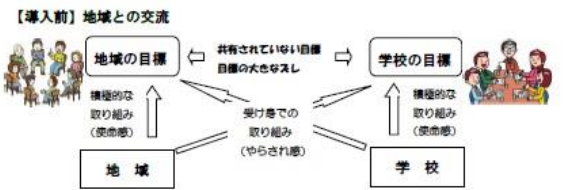
明石市立花園小学校  
 コミスク通信 **チームワーク** 2019年7月2日 No.3

**「地域とともにある学校」目指して①**

コミュニティ・スクールって何？

コミュニティ・スクールは、育てたい子ども像、目指すべき教育のビジョンを学校、保護者、地域で共有し、目標の実現に向けてともに協働していく仕組みのことです。

学校、地域、保護者が**お互いに「当事者」となり**、共通の目標に向かっていきます。具体的には保護者や地域住民が花園小学校の運営に参画する「学校運営協議会」を組織し、地域力を学校運営に生かしていきます。これにより、子どもたちが抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みをつくりあげ、質の高い学校教育の実現を図ります。



明石市立花園小学校  
 コミスク通信 **チームワーク** 2019年7月2日 No.4

**「地域とともにある学校」目指して②**

コミュニティ・スクールのメリット

- (1) コミュニティ・スクールでは、保護者・地域のみなさんも教育の当事者となることで、責任感を持ち、積極的に子どもへの教育に関わることができるようになります。
  - 地域のみなさんが子どもたちに積極的に声をかけたり、自ら指導したりする場面が増えます。
  - 地域ぐるみで考え、実践することで、地域の声を生かした9年間の小中一貫教育が実現します。
- (2) コミュニティ・スクールでは、保護者・地域住民等が学校運営や教育活動へ参画することで、大人の自己有用感や生きがいにつながったり、子どもたちの学びや体験が充実したりします。
  - 多くの大人の専門性や地域力を生かした学校運営や教育活動が実現します。
  - 地域のみなさんの考えや地域の特性を生かすことで、学校での学びがより豊かになり広がります。
- (3) コミュニティ・スクールでは、保護者・地域住民等と学校が「顔が見える」関係となり、保護者や地域住民等の理解と協力を得た学校運営が実現します。
  - 学校・家庭・地域の適切な役割分担により、教職員が子どもと向き合う時間の確保につながります。
  - 大規模災害時等、緊急な対応が必要な場面においても、学校と地域が一体となり、迅速かつ組織的な対応ができます。

**コミュニティ・スクールの進め方**

目標やビジョン、課題を共有し、そのことについて学習・「熟議」し、「議論」することにより、それぞれの役割に応じた解決策がはっきりし、納得して自分の役割を果たすようになります。

**（熟議の例）**

- いじめを撲滅するには
- 学力を向上させるには
- 下校時の安全をどう確保するか
- 教育に地域力をどう生かすか

熟議で共有したビジョンや目標体制に向けて、力を合わせて「子どもたちのため」に取り組みます。「できることから協働を始める」ことで、協働体制をつくっていきます。

**（協働の例）**

- 防災への取組
- 伝統芸能の伝承
- 心れあいデー
- 生徒・生室・体験活動
- 先輩に学ぶ
- 学習環境の整備

花園小からコミスク通信が届きましたのでご紹介させていただきます。ありがとうございます。

学校運営協議会を開催するにあたって協議会のメンバーのみなさんが学校経営方針やコミュニティ・スクールをイメージしやすくなるようにつくられたものです。

コミスクのイメージを持つうえで参考になるのではと思います。

また、ホームページも7月にリニューアルされ、コミュニティ・スクールのページも作っていただきありがとうございます。学校の様子も毎日更新され、手作り感満載のホームページのこれからの充実が楽しみです。

（文責CSコーディネーター北本）